

# 「平成 21 年度予算決まる！ 一般会計は 182 億 4,500 万円」

## 「人件費 40 億、物件費は 25 億。 借金返済（公債費）は 33 億円に」



今年 12 月完成をめざす神代小

最悪といわれる世界経済同時不況の下、仙北市内の大半の企業は、受注減による生産調整や仙北市からの撤退などかつてなかった厳しい対応に迫られている。

働く人達は解雇や自宅待機、時間短縮等による収入減はもとより、生活苦に陥っている。

そんな厳しい経済情勢、雇用情勢の中、仙北市の平成 21 年度の当初予算など、61 件の議案を審議する定例議会が行われた。市当局と議会でのような議論が交わされたのか。その内容について報告する。

### 市税は大幅な減少 市債 23 億を超える！

21 年度歳入は、地域経済の減速により市税の落ち込みと滞納増が心配される。たばこ税は禁煙により、また入湯税も観光客の落ち込みで減収と見込んでいる。市税収入は 26 億 6 千万円、前年比 5

パーセント減と見込んでいる。

地方交付税は前年比 3・6 パーセント増の 81 億円を見込んだが、これは雇用対策推進の施策費がプラス要因である。

21 年度の市債の発行額は 23 億 6 千万円で、総務債、衛生債、民生債のほか、教育債が 5 億 9 500 万円、過疎対策債が 4 億 6 800 万円、臨時財政対策債（赤字対策債）は 7 億 5 千万円である。

財政需要に見合う財源確保が困難な状況で、厳しい財政運営が求められている。歳出の徹底的な見直しはもちろんだが、歳入の確保に英知を結集する必要がある。

### 普通建設事業費は 27 億 4 400 万円

歳出を性質別にみるとトップは人件費で唯一 20 パーセントを越える構成比率で、40 億円近い額である。二番目は借金返済の公債費 33 億 4 72 万円で、18・1 パーセントを占める。三番目が普通建設事業費の 27 億 4 489 万円。前年比 2・8 パーセント、7 8 5 0 万円ダウンである。物件費 25 億 1 4 1 5 万円、補助費等が 18 億 33 万円、繰出金 16 億 9 2 0 8 万円、扶助費 15 億 4 4 3 5 万円と続いている。

全体的に維持補修費、貸付金、補助費が前年比で増となっている。目的別に予算をみると少子高齢化に伴う社会保障費用の増が著しい。老人福祉、児童福祉の費用増や生活保護費等扶助費が増加している。また借金返済の公債費がピーク時のため財政構造は危機的状況にある。しかしかけるべきところに、お金はかけなければならないが、そのポイントについての論議が不足している。



運転業務を委託した  
汚泥再生処理センター

### 下水道特別会計に 4 億 7 千万円

一般会計予算から事業特別会計へ繰出されている予算で額の多いのは、下水道事業が 4 億 7 230 万円。集落排水事業が 2 億 9 500 万円。国保事業 2 億 3 00 万円。後期高齢者医療が 9 300 万円、簡易水道事業は 9 6 5 0 万円。その他に介護保険特別会計、浄化槽事業特別会計、老人保健医療特別会計など事業特別会計等繰出金総額は、16 億 9 2 0 8 万円になる。

### 特別職の給与暫定措置 期間さらに延長

■市長、副市長、教育長

の給料月額をそれぞれ 8 5, 0 0 0 円、5 1, 0 0 0 円、3 5, 0 0 0 円を当該給料月額から減じた額とする条例改正。

■基金条例の一部改正は肉用牛特別導入基金で、基金の額を「1, 9 1 9 万円」を「1, 8 5 2 万円」に改める。

■職員定数条例の改正は、市長部局職員「4 9 5 人」を「4 6 5 人」に、監査事務局職員「2 人」を「3 人」に、合計「9 4 5 人」を「9 1 6 人」に改める。

■仙北市廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正は、「し尿処理場」を「汚泥再生処理センター」に改める。

- 仙北市都市公園条例の一部改正は、「角館駅東公園」を追加する改正。
- 仙北市「在宅介護支援センター」の条例を廃止。
- 平成21年度特別会計予算は次の通り。
- 「集中管理」47億5800万円
- 「下水道」12億6600万円
- 「集落排水」5億2060万円
- 「浄化槽」9550万円
- 「国民健康保険」36億8760万円
- 「老人保健医療」532万円
- 「後期高齢者医療」2億9090万円
- 「介護保険」7億800万円
- 「生保内財産区」9070万円
- 「田沢財産区」4100万円
- 「簡易水道」2億1900万円
- 「病院事業」田沢湖病院11億2549万円。角館病院43億610万円。
- 「温泉事業」3641万円
- 「水道事業」3億135



緊急雇用対策の募集を担うハローワーク

万6000円

■平成20年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ3億7695万3千円を減額し、181億3048万8千円とする。

■過疎地域自立促進計画の変更

クリオンとしき園、西明寺診療所のボイラーと給排水設備を木質バイオマス設備導入により改修。

■市有財産の減額貸付

水沢ロマンスリフト、水沢ナイター設備一式を田沢湖高原リフト株式会社

に「通常貸付216万1820円」を「減額貸付56万472円」で2年間貸し付ける。

**市営住宅家賃徴収に誤り!**

平成18年度から20年度にかけ、菅沢住宅、さくらぎの里、岩瀬住宅、ニュータウン塚野腰の各住宅家賃、合計65万5380円を誤って徴収したことが報告された。件数にして42件である。原因は平成17年11月の家賃設

**緊急雇用の人件費分5935万円、従事労働者は79人!**

■仙北市の経済不況対策は他市町村に遅れをとったが、議会最終日に追加提案され、全会一致で可決された。

対策事業は平成21年度に繰越しとなったが、内容は次の通り。

歳入は地方交付税が5180万円で、大半は国库補助金の9億5797万4千円である。

歳出で大きい予算は、定額給付金4億9122万円で、対象者には4月中に支給された。事務費用は1036万円かかっ



家賃徴収に誤りがあった市営住宅

定時に、損害保険改定率に誤りがあったことが説明され、関係者にお詫びし理解を求めた。

た。

介護保険特別会計繰出金1億694万円は、桜苑、にしき園のスプリングラーの工事請負費1億178万円が主である。児童福祉費では子育て応援特別手当1260万円。

■平成21年度補正予算に、緊急雇用対策費として、6137万9千円が補正予算で措置された。事業の内容は「」の通りである。

「税務事務補助員確保」、「地番現況図修正作業業務委託」、「観光資源整備事業」、「台帳整備関

汚泥センター、ごみ処理施設に応募者殺到!

仙北市が直営で業務を運営してきたごみ処理施設と汚泥再生処理センターの運転業務を21年度から委託化した。

現地法人会社を設立し、社員20人強を地元採用し営業を行なっているが、失業が増えている中、汚泥センターとごみ処理の受託会社の募集には170人近い応募者が殺到した。

連資料作成事業」、「市有林保育等」、「市道及び普通河川維持整備事業」、「環境整備事業」、「文化資料データベース作業」、「街灯設置状況調査事業」、「環境保全及び施設維持等補助員」、「情報センター施設整備事業」、「中心市街地活性化状況調査事業」、「学習資料館寄贈各文庫整理事業」、「観光宣伝・イベント補助事業」、「桜植林地管理育成事業」等で、賃金は3015万、委託料2360万、雇用数は79人の事業である